

市川三郷町立病院改革プランの実施状況について

総務省では全国の公立病院に対し、経営効率化の推進（収支の黒字化）、再編ネットワーク化及び経営形態見直しなど、経営に関する改革プランの策定を求め、市川三郷町立病院においても平成21年3月に市川三郷町立病院改革プランを策定しました。計画の中で経営効率化に関する事項は平成23年度が最終年度となっていますが、再編ネットワーク化及び経営形態見直しに関しては5年計画としており、平成25年度を最終年度としています。平成25年度の実施状況（概要）は次の通りとなっています。

■収益的収支における実績状況（概要）

（単位：百万円）

区分		年度	21年度 (実績)	22年度 (実績)	23年度 (実績)	24年度 (実績)A	25年度 (実績)B	前年度 比較B-A
収 入	1. 医 業 収 益	a	1,500	1,448	1,462	1,333	1,256	△ 77
	2. 医 業 外 収 益		135	157	155	214	271	57
	経 常 収 益	A	1,635	1,605	1,617	1,547	1,527	△ 20
支 出	1. 医 業 費 用	b	1,633	1,569	1,579	1,519	1,487	△ 32
	うち 職 員 給 与 費	c	760	756	752	715	690	△ 25
	2. 医 業 外 費 用		46	44	37	35	34	△ 1
	経 常 費 用	B	1,679	1,613	1,616	1,554	1,521	△ 33
損 益	経 常 損 益 (A-B)	C	△ 44	△ 8	1	△ 7	6	13
	1. 特 別 利 益	D					250	
	2. 特 別 損 失	E					209	
	純 損 益 (C+D-E)		△ 44	△ 8	1	△ 7	47	54
	累 積 欠 損 金		514	522	521	528	481	△ 47
経常収支比率		(A/B) x 100	97.4%	99.5%	100.1%	99.5%	100.4%	0.9pt.
医業収支比率		(a/b) x 100	91.9%	92.3%	92.6%	87.8%	84.5%	△ 3.3pt.
職員給与費対医業収益比率		(c/a) x 100	50.7%	52.2%	51.4%	53.6%	54.9%	1.3pt.
病床利用率			52.2%	55.0%	55.4%	44.2%	37.5%	△ 6.7pt.
一般会計からの繰入金(資本金収入含む。)			215	222	203	267	595	328

平成25年度の病床利用率は前年度比6.7ポイント低下し37.5%となりました。このため、医業収益は減収となりましたが、町からの繰入金の増額や費用削減効果などにより経常損益は6百万円の経常利益となりました。前年度と比較して13百万円の改善となりました。

一方、病院経営統合に向け、平成25年度末で病院事業会計を廃止することに伴い、特別利益に250百万円（一時借入金返済に充当）、特別損失に209百万円（過年度損益修正損）を計上し、平成25年度の病院事業全体の収支は47百万円の純利益となりました。これにより累積欠損金は481百万円となっております。

■再編ネットワーク化に係る実施状況（概要）

山梨県策定の「公立病院再編・ネットワーク化構想」により、市川三郷町立病院と社会保険齋沢病院が経営統合し、平成26年4月1日峡南医療センター企業団が発足しました。市川三郷町立病院は峡南医療センター企業団市川三郷病院となりました。

■経営形態見直しに係る実施状況（概要）

市川三郷町立病院は、地方公営企業法のうち財務規定のみが適用されてきました。峡南医療センター企業団では、地方公営企業の財務規定のほか組織や人事を含む全規定が適用される全部適用団体に移行しました。